

新潟リハビリテーション研究会
平成26年2月24日

新潟県障害者リハビリテーションセンターの
利用者状況について
～一般就労に至った脳出血の事例を通じて～

新潟県障害者リハビリテーションセンター
作業療法士/言語聴覚士
北上 守俊

発表内容

1. 新潟県障害者リハビリテーションセンター(以下、当センター)の
利用者状況について

2. 一般就労に至った脳出血の事例について

当センターの特徴

医療機関から在宅または就労への社会参加を目的とした中間施設としての役割・機能



医療機関



当センター



在宅



就労

主なプログラム

【機能訓練 (PT・OT・ST)】



【一般教養コース】



【パソコンコース】



【コミュニケーションコース】



【手工芸コース】



【スポーツ・レクリエーションコー



1日スケジュール一例

時間	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
内容	パソコン	OT	スポ・レク	昼休み	一般教養	コミュニケーション	手工芸

利用者状況

分析対象

平成18年8月～平成25年8月の7年間

退所者:51名 入所者:22名

合計73名

利用期間 (n=48)

平均値485.7±標準偏差210.4日

発症から利用までの期間 (n=71)

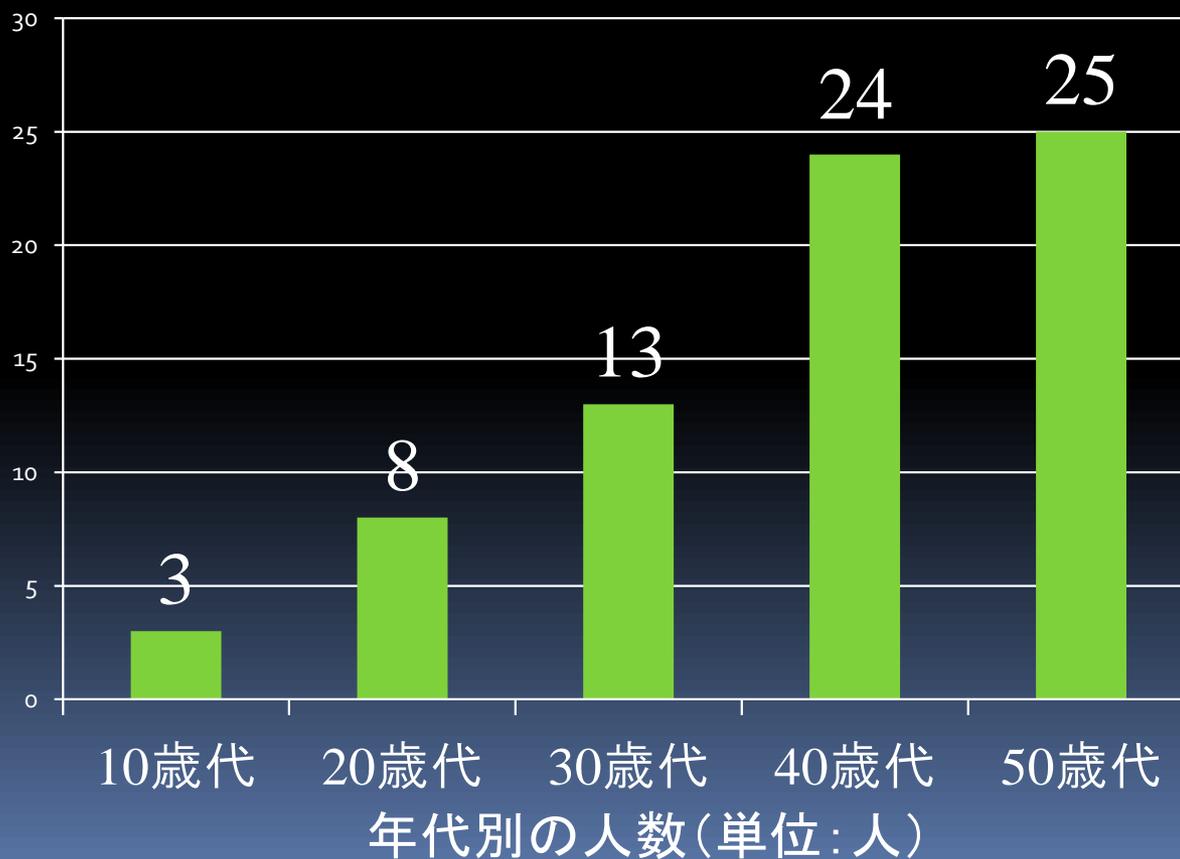
平均値332.3±標準偏差365.7日

利用者状況

年齢 (n=73)

平均値42.8±標準偏差10.9歳

最小値18歳 最大値58歳



利用者状況

地域 (n=73)

順位	地域	人数 (%)
1	西区	9 (12.3)
2	中央区	7 (9.6)
3	五泉	6 (8.2)
4	上越・柏崎	5 (6.8)
5	北区・西蒲区・佐渡・阿賀野	4 (4.5)
6	江南区・南区・長岡	3 (4.1)
7	秋葉区・東区・見附・新発田・燕・村上	2 (2.7)
8	阿賀町・小千谷・関川村・三条	1 (1.4)

利用者状況

疾患名 (n=73)

順位	疾患名	人数 (%)
1	脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）	44 (60.3)
2	脳卒中以外の脳損傷（脳炎、脳腫瘍など）	12 (16.4)
3	パーキンソン病以外の神経変性疾患	5 (6.8)
3	脳性麻痺	5 (6.8)
5	整形外科疾患（脊髄損傷、骨折など）	3 (4.1)
5	パーキンソン病	3 (4.1)
7	内部疾患	1 (1.4)

利用者状況

障害名（重複あり）（n=73）

順位	障害名	人数（%）
1	高次脳機能障害	33（45.2）
2	左片麻痺	22（30.1）
3	右片麻痺	20（27.4）
4	構音障害	7（9.6）
4	四肢麻痺	7（9.6）
6	運動失調	6（8.2）
7	視力障害	2（2.7）
7	対麻痺	2（2.7）
9	下肢切断	1（1.4）

利用者状況

利用目的（重複あり）（n=73）

順位	利用目的	人数（%）
1	就労	48（65.8）
2	身体機能向上	26（35.6）
3	一人暮らし	18（24.7）
4	日常生活動作能力向上	16（21.9）
5	高次脳機能向上	9（12.3）
5	自動車運転練習	9（12.3）
7	パソコンスキル向上	8（11.0）
8	公共交通機関の利用自立	3（4.1）
9	手段的日常生活動作能力向上	2（2.7）
10	資格取得	1（1.4）
10	グループホーム利用	1（1.4）

【就労率：人数（%）】

■ 復職率：6/16（37.5）

■ 新規就労 n=12：

一般就労：3/12（25.0）

福祉的就労：7/12（58.3）

利用者状況

退所先 (n=43)

順位	退所先	人数 (%)
1	在宅	21 (50.0)
2	就労 (福祉的就労含む)	16 (38.3)
3	一人暮らし	3 (7.1)
3	施設入所 (グループホームなど)	3 (7.1)

利用者状況

日常生活動作能力 (n=21)

- 機能的自立度評価表 (Function Independence Measure; FIM)
126点満点、各動作1(全介助)~7点(自立)
平均値118.7±標準偏差4.66

項目								
平均値 最小値・最大値								
食事	整容	清拭	更衣・ 上衣	更衣・ 下衣	トイレ	排尿	排便	ベッド 移乗
6.95 6・7	6.81 6・7	6.76 6・7	6.76 6・7	6.71 5・7	6.81 6・7	7.00 7・7	7.00 7・7	7.00 7・7
トイレ 移乗	浴槽 移乗	移動	階段	理解	表出	社会的 交流	問題 解決	記憶
6.81 6・7	6.24 5・7	6.43 6・7	6.14 5・7	6.52 5・7	6.10 4・7	6.14 5・7	6.05 5・7	6.57 4・7

利用者状況

1. 高次脳機能障害のある方への支援⇒ 支援の流れ案

2. 就労支援⇒ 支援の流れ案

3. 社会生活技能の自立⇒ 自動車運転再開支援案

買い物・調理訓練、公共交通機関利用など

事例

基本情報

■年齢・性別：壮年期、男性

■診断名：脳出血（左被殻）、高血圧

■障害名：右片麻痺、失語

■現病歴：

・自宅にて右片麻痺、意識障害を認め、A病院へ救急搬送。

・B回復期病院入院。その後、在宅生活。

・リハビリ施設へ入所。

・当センターを利用

■社会的背景：

・3人暮らし（父・母・本人） ・職業：医療従事者

・住居：一戸建て（住宅改修済み） ・趣味：ドライブ、読書

・身体障害者手帳：1種1級 ・障害基礎年金：1級受給

■ニーズ：身体・言語機能の向上、パソコンスキルの向上、自動車運転再開、一般就労

事例

評価

【身体機能(平成24年7月評価)】

- Br-stage: 上肢・手指・下肢Ⅲ
- Sensory: 表在・深部重度鈍麻
- 痺れ・疼痛: 無
- Berg Balance Scale: 44点/56点(片足立位など4項目で減点)
- Timed Up & Go Test(max): 14.7秒(標準値: 10.0±2.6秒)
- FIM: 124点/126点(コミュニケーション・表出1項目が一部介助)

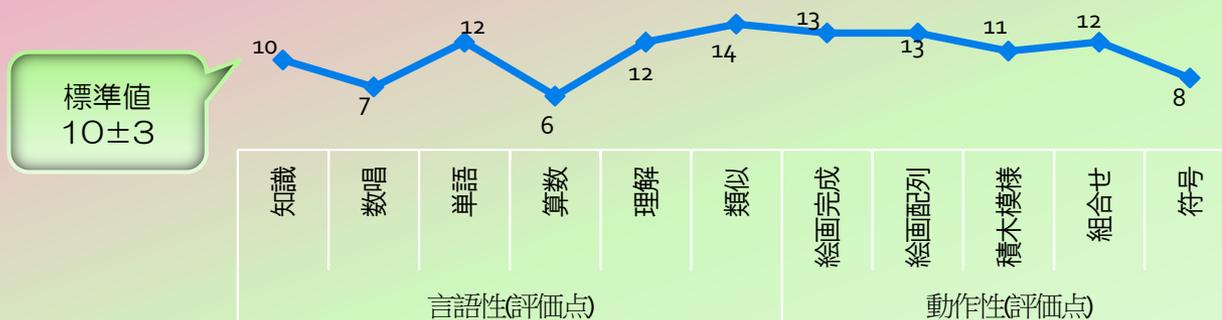
【動画】

■ 上肢機能

■ 歩行動作

【認知機能】

- 知的機能(平成25年6月評価):
WAIS-R 成人知能検査: 言語性IQ101 動作性IQ109 全IQ105



- 言語機能: 標準失語症検査(SLTA)後述

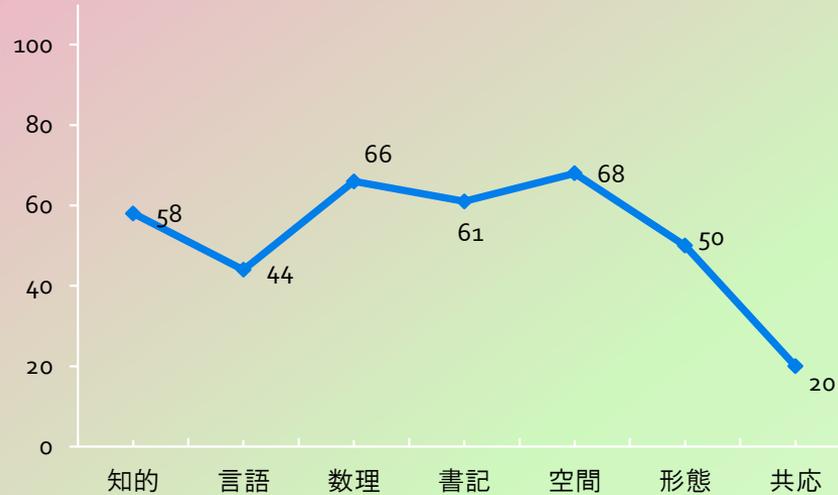
事例

評価

【職業評価】

■厚生労働省編一般職業適性検査（General Aptitude Test Battery：GATB）（平成25年9月評価）

平均値
90~109



■ワークサンプル幕張版（平成25年9月~10月評価）

項目	作業内容	結果	標準値
OA作業	数値チェック	59秒	52秒
	文章入力	10分48秒	8分7秒
	データ修正	4分26秒	1分58秒
事務作業	物品請求書作成	16分53秒	9分43秒
	作業日報集計	4分45秒	3分42秒

事例

支援目標

【目標：身体機能・言語機能の向上】

【目標：パソコンスキルの向上】

【目標：自動車運転再開】

【目標：一般就労】

事例

支援内容

【目標:身体機能・言語機能の向上】

- 作業療法士、言語聴覚士、理学療法士による個別・集団訓練
- コミュニケーションコースでの失語ドリル訓練など



事例

支援内容

【目標: パソコンスキルの向上】

- パソコンコース、自主練習でパソコン資格取得のための学習
- 平成25年10月: 資格検定試験ビジネス能力認定 サーティファイ(ワード・エクセル)1級取得



A screenshot of the Certify Online website homepage. The page features a navigation bar with 'HOME', 'サーティファイとは', '試験案内', '個人の方', and '教育機関・企業の方'. The main content area has a large banner for 'Microsoft Office 2013' with the text '平成25年11月スタート!! Microsoft Office 2013に完全対応します。' and a '詳しくはこちら' button. Below the banner are logos for Excel, Word, Access, and PowerPoint. The bottom section includes a list of certification committees and a sidebar with '個人の方' and '教育機関・企業の方' options.

事例

支援内容

【目標:自動車運転再開】

■平成25年7月:自動車学校にて自動車運転の適性検査受講

事例

支援内容

【目標：一般就労】

- 平成25年6月：地域障害者職業センターと職業相談の実施
- 平成25年6月：障害者就業・生活支援センターと就職相談の実施
- 平成25年9月：障害者合同就職面接会への参加
- 平成25年10月中旬～下旬：事務作業を中心とした職場実習（10日間）
- 平成25年10月下旬：採用決定（障害者雇用）

就職先：A医療機関

仕事内容：診療報酬内容確認など

- 平成25年12月：A医療機関にて勤務開始

事例

まとめ

- 脳出血発症後、約4年経過
- 運動麻痺、感覚障害が中重度レベル残存
- 失語やや改善したが、症状残存しておりコミュニケーションに時間要す場面あり
- 職業評価の検査上、いずれの課題も標準値より下回る



パソコンの資格取得

多機関と協働



一般就労